



# 滝小だより

滝頭小学校学校だより 2021st

令和4年1月31日

## 2月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

### 手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

## 伝えることの大切さ

校長 鶴飼 数夫

一年のうちで一番寒い時期、今年の冬は久しぶりに厳寒が続きます。でも、校庭の梅の木はかわいい花をつけ、春はもうすぐそこまで来ています。

しかし、新型コロナウイルス(=COVID-19)オミクロン株の感染第6波が大きく拡大し、これまで以上に緊張感をもって手洗い・マスク・換気に気を付けて教育活動を展開していきたいと思います。ご家庭でも基本的な感染対策はもちろんのこと、頭痛・咳・鼻水・喉痛・倦怠感などの風邪症状がある場合は、登校を控えるようお願いいたします。

さて、先日、4年生の資源循環局金沢工場見学に同行してきました。工場では、市内で回収された様々なゴミが集められ、処理されていく様子を説明とともに目の当たりにすることができました。

そこで学んだことは、このごみは、24時間作動している焼却炉で燃やされ、体積が約1/40ほどの灰になって最終処分場で埋め立てられるということ、その余熱を使って発電が行われ、電力会社を通じて各家庭に供給されていることなどです。特に心に残ったことは、燃やすごみ以外の分別ごみは、工場内にある選別センターというところで、目視と手作業でさらに細かく分けられている事実を知ったことです。さらに、そこで働く人たちの作業効率を上げるために私たちが注意しなければいけない点をいくつか知りました。回収できるビンや缶は、食品が入っていたものに限る。これまでも、危険な薬品のビンや注射器などが入っていた例もあったそうです。缶はつぶさずに、ペットボトルはつぶして出す。これはアルミ缶を風で吹き飛ばして選別するため、つぶすと飛びにくくなってしまふからだそうです。これは私も誤解していました。また、回収時にビンや缶を入れる袋は、選別前に口を開かなければいけないので、しばらく出た方が親切だということでした。このように、実際に見聞きしたことで改めて知ることがたくさんありました。工場の方は、説明の最後に「今日知ったことは、是非おうちの人に伝えてくださいね。」とおっしゃっていました。ここが大事なところ。なぜ生ごみは水分を切って出さなくてはいけないのか、なぜペットボトルはキャップとラベルを外さなくてはいけないのか、学んだことを自分の言葉で咀嚼して他者に説明することで、単なる知識から、「生きて働く知」となります。そして、この知見が子どもたちを通して大人たちに伝わることで、初めて社会科見学を実施した意義が見出されてくるのです。



掘割川を愛する会の展示 in 区役所

5年生は、総合的な学習の時間で、身近な掘割川から関連水系の大岡川、そして三崎海岸と活動範囲を広げて、ポイ捨てや不法投棄による海洋プラスチックごみの実態を知り、自分たちにできる事は何だろうと行動化を考えています。その一つとして、毎年行われている掘割川を愛する会のパネル展示には、海洋ごみを無くすためのメッセージをポスターにして発信しました。

子どもたちが教科で学習したことから、私たち大人が学ぶことがたくさんあります。そして彼ら自身が大人になって近未来の社会を築いていくのです。今の4年生が成人となる2030年は、もうすぐです。